

プラチナ森林産業イニシアティブ

参加団体の取組紹介

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社安藤・間

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

- ▶2024年5月 林野庁と「建築物の木造化及び木質化に関する建築物木材利用促進協定」を締結しました。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/zisseki.html

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶「木造都市」分科会と「森林・林業革新」分科会との意見交換会も定期的にあれば、サプライチェーンの問題について話し合えるのではないかと考えます。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社岩手銀行

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

当行は岩手県を主たる営業基盤とする地方銀行です。

現在、岩手県庁を中心として県内の森林資源をフル活用して林業の活性化や脱炭素化を官民連携で推進する「森林資源フル活用プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」）の取り組みがスタートしています。本プロジェクトは、

- ①本県の未利用の森林資源を活用する先進的な取り組みであり、当行が長期ビジョンに掲げる地域価値共創目標の達成につながること、
- ②本プロジェクトへの参画を通じて先進的な取り組みを行っているビジネスパートナーとの連携機会が期待できること、
- ③本プロジェクトにかかる資金需要への対応等金融機関としての役割を果たせること、等の取り組み意義を見出し、今般、本イニシアティブに参加させていただくものです。どうぞよろしくお願いいたします。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名： MGCウッドケム株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶『化学の力で安全な住環境と持続可能な社会の実現に貢献する』を企業理念として、「バイオマスの有効活用へ貢献する」という当社のDNAを活かし、化学の力で地球や社会の役に立つ価値ある製品を創出し、安全で健康的な住環境の提供と持続可能な社会を実現します。

合板や木質ボード用接着剤を主力事業として、その歴史は90年以上になります。

木材、特に国産材の利活用拡大のため、木質用接着剤をはじめとして様々な技術開発および製品開発を進めてまいります。

従来の化石原料を使用せず、バイオマス等持続可能性原料由来のホルムアルデヒド系樹脂接着剤のご提供が可能になっています。

(関連サイト)

ホームページ：<https://www.mgcwoodchem.com/technical/>

バイオマス活用関連ページ：<https://www.mgcwoodchem.com/biomass/>

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

▶木材のケミカル利用に向けて木材等をガス化し、環境循環型メタノールを生成、ホルマリンに加工し、バイオマス等持続可能性の木質用ホルムアルデヒド系樹脂接着剤を製造。またバイオマス原料からなる工業用リグニンの接着剤への利活用拡大を進め、合板や木質ボード向け接着剤としてご利用いただき、脱石化、GHG排出量を抑制するとともに炭素貯蔵型木質建材を確立、国内森林資源によりカーボンニュートラル社会実現に貢献してまいりたいと考えます。また、中高層建築への木材利用を進めていく上でもGHG低排出、炭素貯蔵型接着剤利用木質建材が利用効果を高められると考えます。更に中高層建築物に木質建材を使用する上での課題についてはLVL・合板・木質ボード等基材メーカー様や建材メーカー様とともに改良対策していくことで木質利用拡大に努めてまいります。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社 大林組

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

- 木造都市：[木造・木質建築 | 技術・ソリューション | 大林組](#)
[Port Plus](#)
[OBAYASHI WOOD VISION 未来の木造建築はどんな形？ | 日本経済新聞 電子版特集](#)
- 森林・循環利用：[木造建築 | OBAYASHI Thinking | 大林組](#)
[OBAYASHI WOOD VISION 木材を活用した循環型社会とは？ | 日本経済新聞 電子版特集](#)
[LOOP50 | 6つのストーリー | OBAYASHI CHRONICLE 130](#)
- 苗木・森林づくり：[大林組、「森林×ACTチャレンジ2024」優秀賞を受賞](#)
[ハイブリッド型苗木生産システムによって育苗したカラマツの苗木290本を初出荷](#)
[人工光と自然光のハイブリッド型苗木生産システムによるカラマツの苗木生産を開始](#)
[鳥取県の山林に人工光で育てた苗木約700本を植林](#)
[苗木を安定的に栽培、育成する「人工光苗木育成技術」を開発](#)
- 協定：[農水省、経産省、環境省と大林グループ3社で「建築物木材利用促進協定」を締結](#)
[飯能市との「循環型森林利用に関する基本協定」の締結について](#)

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ①都市の木造化の推進
- ②循環型森林利用の促進
- ③川上から川下までの林業・木材利用サプライチェーンの構築
- ④脱炭素/カーボンニュートラル/ウェルビーイングの実現
- ⑤森林共生都市「LOOP50」の実現

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社カネカ

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶カネカでは石油資源に依存せず、環境にやさしいソリューションを提供したいという思いから、100%バイオマス由来のカネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®の開発・製造を行っております。

Green Planet®はバイオマス資源のパーム油や廃食用油から生産可能で、さらにCO₂からの樹脂づくりの検討も進めています。

[株式会社カネカ \(kaneka.co.jp\)](https://kaneka.co.jp)

▶2023年度より、「CO₂からの微生物による直接ポリマー合成技術開発」をNEDOのGI基金事業に採択されております。

[「CO₂からの微生物による直接ポリマー合成技術開発」がNEDOグリーンイノベーション基金事業に採択 | 株式会社カネカ](#)

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶サプライチェーンの最終的な廃棄物を有価物とする方法の一つとして、樹脂原料にすることを考えています。
- ▶廃棄物回収と化学合成（原料合成/樹脂合成）の協働が必要で、廃棄物量の確保と経済性の担保がポイントになると考えています。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名 株式会社熊谷組 中大規模木造建築推進室

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶熊谷組社外ホームページ「木造・木質」 <https://www.kumagaigumi.co.jp/tech-solution/timber/>

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

▶2030年のCO2排出量46%削減に向けて、林産資源の循環活用、建物への木材利用により炭素を街に固定する取り組みで連携させて頂き、次世代にこの地球を残して行く取組をさせて頂きたいです

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：サントリーホールディングス株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

■ サントリーグループのサステナビリティ

<https://www.suntory.co.jp/company/csr/>

■ 植物由来原料100%使用ペットボトルの開発に成功

<https://www.suntory.co.jp/news/article/14037.html>

■ 使用済み食用油由来のバイオパラキシレンを使用したペットボトルを世界で初めて(※2)商品に導入

<https://www.suntory.co.jp/news/article/14688.html>

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ・貴重な国産資源である森林資源の活用、地域共創によるサステナブルな社会実現への貢献
- ・国産資源を活用したサステナブルな包材を取り入れたPETボトルの100%サステナブル化の達成
- ・上記取り組みの活動評価（LCAなど）およびそのサステナ価値のお客様への訴求方法の検討

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

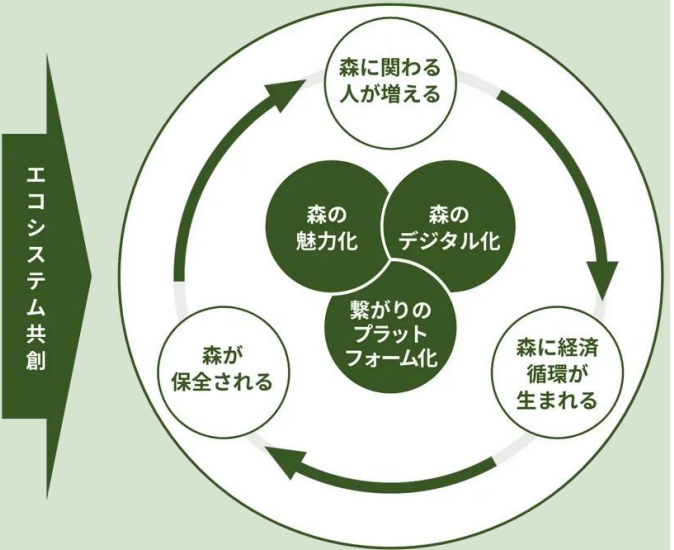
団体名：SUNDRED株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

- ▶ SUNDRED <<https://sundred.co.jp/>> は、2019年7月にローンチしたスタートアップ、『実現すべき未来』に向け、未来目的起点の「100の新産業共創」を鋭意推進しています。
- ▶ 共創活動の中から、「フォレストリバイタライズ産業」プロジェクトを立ち上げました。
<<https://www.industry-up.com/015-forest-revitalize>>
- ▶ 産業エコシステムづくりに向け、共感起点で具体的なプロジェクト・事業を産み出す事業体となる「モリジェネ」を2024年9月に創設、現在、自治体連携で鋭意事業化を進めています。
<<https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000133.000046109.html>>
<<https://mori-gene.jp/>>

森林活用
×
ものづくり
建築
体験・レジャー
教育
アート
リトリート
コミュニティ
デジタル
etc.

森林保全
×
植林・育林
カーボンクレジット
生物多様性
整備・防災
テクノロジー
etc.



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶ 「フォレストリバイタライズ産業」「モリジェネ」活動に共感して下さる方々と連携・協働し、具体的な事業創出・社会実装を進めていきたいと考えています。
 - ー 私たちの持つネットワーク、エコシステム、フィールドなどのアセットとも接続しながら、具体的な共創・実装を実践して参ります。
 - ー 企業、研究機関、中央官庁・自治体、個人々人、など、あらゆる方々との連携・協働を考えております！
- ▶ まずは、ご所属組織の事業・活動に囚われることなく、想いを持つ個人同士でのフラットに対話の場をつくりたいと思いますので、ご関心・ご興味お持ち頂けましたら、是非とも（お気軽に）お声がけ頂けると幸いです！

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社 Cキューブ・コンサルティング

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

- ▶ 新庄村持続可能な森づくりを目指す造林事業委託業務
<https://www.ccube-consulting.co.jp/assets/pdf/news/230908-3.pdf>
- ▶ バイオマスを利用した小型分散型SAF製造ビジネスモデルの社会実装に向けた検討
<https://www.ccube-consulting.co.jp/assets/pdf/news/241115.pdf>
- ▶ 中国経済産業局 令和6年度地球温暖化・資源循環対策等調査事業
<https://www.ccube-consulting.co.jp/assets/pdf/news/241029.pdf>

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶ 森林産業の川上から川下までの他企業・地域における先進的な取組みに関する情報・知見の共有
- ▶ 中国地方における森林産業イニシアティブの推進に向けた当地のネットワークの構築

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社シェルター

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶木造建築・木材活用事業を通して、人と環境にやさしい「木造都市®」（まちの木造化・木質化）を目指しています。木造建築の耐震性、耐火性、デザイン性を高めるために技術開発を行い、大規模・高層の木造建築を実現しました。設計、施工、材料製作、技術提供などの様々な形で国産材・地域産材活用に取り組み、「都市に森をつくる®」活動を推進しています。

【サイトURL】 <https://shelter.inc/>

【シェルターの主な技術】

- ①庁舎や学校にも採用されている、高い耐震性・耐久性の接合金物工法「KES構法」
- ②高層木造ビルも建築可能な木質耐火部材「COOL WOOD」
- ③斬新なデザインを形にする曲線・ひねり部材「FREE WOOD」



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

▶全国の自治体様、法人様と連携し、国産材・地域産材を活用した木造建築、木質化事業を推進することで、木材需要の拡大、再造林率の向上による森林の再生、環境保全、脱炭素社会、地方創生の実現に取り組みたいと考えています。木材活用に関するご相談や、技術提供についてのお問い合わせなど、お気軽にご相談ください。



シェルターインクルーシブプレイス コパル
(設計 o+h／施工 高木・シェルター特定JV)

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：清水建設株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶ 中大規模・中高層木質建築への取組み
サステナブル社会の実現に向けて木質建築の普及推進に全社的に取り組み、建築に木を取り入れることで、**環境と人にやさしい木質建築**を目指します。
(<https://www.shimz.co.jp/mokushitsu/>)

▶ 木質建築を実現する木質ハイブリッド技術「シミズ ハイウッド®」
木材を適材適所に使用して建物を最適に木質化する「シミズハイウッド®」により、中大規模・中高層の木質建築に求められる耐震性、耐火性を満たすとともに、意匠性、施工性、経済性に優れた建築を実現します。
(https://www.shimz.co.jp/mokushitsu/assets/pdf/tech/01_Shimz_Hy-wood.pdf)

▶ 木材の循環調達の取組み：シミズめぐりの森
今後の需要拡大が見込まれる木造・木質建築物に利用する木材の循環調達を推進する取り組み「シミズめぐりの森」プロジェクトを開始。



(<https://www.shimz.co.jp/company/about/news-release/2022/2022049.html>)



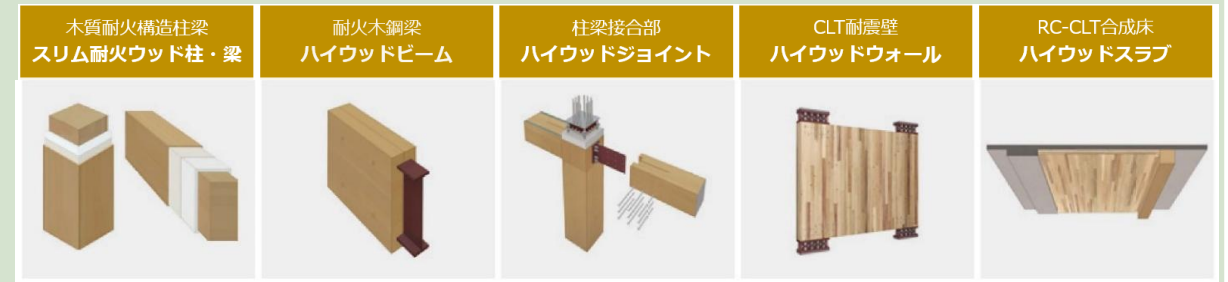
木造ハイブリッド構造のオフィスビル
(仮称)京橋第一生命ビルディング建替計画



都心の木質サステナブルオフィス
野村不動産溜池山王ビル



木材活用の多様性 温故創新の森 NOVARE



清水建設の木質ハイブリッド技術「シミズ ハイウッド®」シリーズ

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶ 各社が開発した技術の共有化に向けた具体的な議論
- ▶ 川上～川中～川下の関係者連携に向けたネットワーキング
- ▶ 都心部における中高層木質ビルの普及・拡大に向けた具体的な法的制約条件の整理・例示・提言、経済的インセンティブ獲得に向けた具体的試算

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社 （代表 高田 克彦）

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社（BePA）は、日本におけるバイオエコノミー社会の早期実現を目指して、木質系資源の新たな利用法の提案・拡大とそれに資する技術開発、産学プロジェクトの推進に取り組んでいます。

これらの事業の一環として、2024年からJST（科学技術振興機構）が推進する「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）本格型（代表機関：秋田県立大学）」に参画、秋田県内外の産官学からの参画機関と協働して、粒径20-30 μ mの超微粉碎木粉を利用した新たな材料開発に取り組んでいます。共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）本格型（代表機関：秋田県立大学）の取組みは下記のURLで確認できます。

秋田COI-NEXT ソウゾウの森プロジェクト <https://akita-souzounomori.com>

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

プラチナ森林産業イニシアティブのビジョン実現に向けて、参画企業の皆さまとの協働を通じて、我々が有する粒径20-30 μ mの超微粉碎木粉の製造技術（タンデムリングミル型粉碎機：写真1）と製品（超微粉碎木粉：写真2）の利活用を推進してまいります。今後よろしくお願いいたします。



写真1 タンデムリング型粉碎機



写真2 超微粉碎木粉

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：住友化学株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

- ▶ 住友化学レポート（統合報告書）（気候変動の緩和と適応）：
https://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/library/annual_report/files/docs/scr2024_14.pdf
- ▶ 住友化学レポート（統合報告書）（資源循環への貢献／自然資本の持続可能な利用）：
https://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/library/annual_report/files/docs/scr2024_15.pdf
- ▶ プラスチック資源循環事業情報サイト：
<https://www.sumitomo-chem.co.jp/circular-plastics/>

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶ 当社が開発を進めている炭素資源循環技術の社会実装に関して、連携・協働をしてきたいと考えております。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：大和ハウス工業株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶大和ハウス工業(株)は、環境長期ビジョン「Challenge ZERO 2055」に基づき建築物の木造・木質化や木造建築物の長寿命化の推進により、カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーを促進します。

木造・木質化した建築物を提供することにより施主様等のカーボンニュートラル実現に寄与するとともに、社会や地域における脱炭素化、森林資源の循環利用に貢献します。

住宅だけでなく共同住宅や事業用建築などの非住宅においても、積極的に木材を活用しています。

【関連サイト】

大和ハウスの木造木質建築Future with Woodのページ

<https://www.daiwahouse.co.jp/business/fww/index.html>

▶2024年12月、農林水産省と「カーボンニュートラルの実現に貢献する建築物木材利用促進協定」を締結しました。

【関連サイト】

当社ニュースリリース（2024/12/17）

<https://www.daiwahouse.co.jp/about/release/house/20241217162557.html>

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

▶森林資源に着目し、脱炭素化を目指し共通のビジョンと志を有する自治体、企業等の多様な会員と連携し、主に本業である建設業を活かした「木造都市（まちの木造化・木質化）の展開」において、社会課題解決に取り組みます。

▶自社の未活用森林について、参加団体との連携により森林循環経済の実現に資する利活用を図りたいと考えます。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社 竹中工務店

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

当社は国産木材の利用をより拡大するために、これまで木造化が進んでいない4階以上の建物、すなわち中高層建物向けの木造技術の開発を推進しています。そして、4階建以上の木造プロジェクトの設計施工実績を国内最多となる25件積み重ね、都市木造建築の可能性を追求してきました。地震国である日本では、建物が大きくなるにつれ、木造のみで建設することは耐震性・コストや工期の面で難しくなります。そのため、地震力は主に鉄骨や鉄筋コンクリートに負担させるなど、材料を適材適所に組み合わせた木造ハイブリッド構造を推進しています。

<https://www.takenaka.co.jp/solution/environment/01/>



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

当社は森林資源の持続可能な好循環を実現する「森林グランドサイクル」を構築する活動を進めています。この活動は右図に示す4つの象限からなります。「木のイノベーション」は森林資源の新しい活用方法を生み出すこと、「木のまちづくり」は商業施設やオフィスビルなどを木造で建てたり木質化すること、「森の産業創出」は木のまちづくりを通じて森に関する新たな産業を生み出すこと、「持続可能な森づくり」は森に関わる人や森に入る資金が増えることで、森を手入れし守る山主や林業経営者の活動を支援することです。

これらの活動は、プラチナ森林産業イニシアティブが掲げる「ビジョン2050 日本が輝く、森林循環経済」とも親和性が高く、活動全般において連携できると考えています。



プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：中国木材株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

- ▶ 当社は、関係会社含め全国5拠点で国産材製材事業を展開しています(宮崎県、佐賀県等)。
- ▶ 宮崎県日向工場では、原木仕入れからバイオマス発電までを一貫した『日向モデル』を構築。大径木から小径木までの全ての原木受け入れを可能とし、山林からの原木運搬の効率化にも繋がっています。この『日向モデル』を拡大し、適材適所で森林の価値を最大化します。
- ▶ 全国に約11,000haの山林を所有し、植栽、育林、伐採といった山林経営を行っています。
- ▶ 育苗事業・林業大学校への支援
 - ・ 2023年 宮崎県の老舗苗会社(長倉樹苗園)を子会社化。全面支援することで、苗木生産の効率化と安定供給の構築に努めています。
 - ・ 2024年 みやざき林業大学校への寄付を行うなど、人材育成にも力を入れています。
 ⇒ 苗を起点とした林業のサステナビリティ向上、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

◆ 中国木材株式会社HP：<http://www.chugokumokuzai.co.jp/>

◆ 中国木材が取り組む、苗を軸とした地域活性化：<http://www.chugokumokuzai.co.jp/topics/topics70.pdf>



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

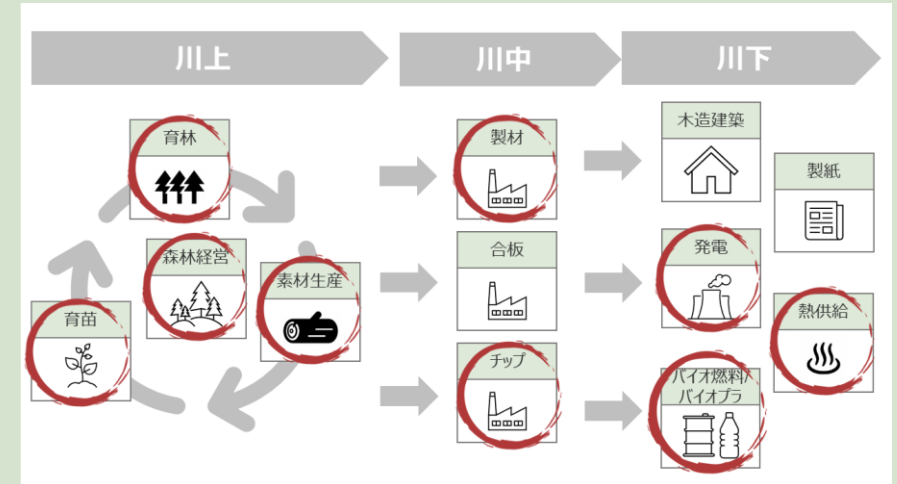
- ▶ 主伐と再生林をセットでみた収益の改善が、持続可能な林業経営を行う上でのボトルネックと考えています。その対策として、当社は再生林率向上を目指し、苗の生産量拡大・安定供給に努めております。
- ▶ 更なる林業貢献に活かす為、持続可能な林業経営に対してのお考え、取組をご教示頂ければ幸いです。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：中部電力株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介

中部電力では、事業活動を通じた地域・社会の課題解決を目指し、2022年に地域インフラ事業推進室を立ち上げ、資源循環・上下水道・森林を重点分野に事業開発を進めています。森林分野では、木材バリューチェーン全体への参画を通じ、小規模・分散的な所有・事業構造や川上・川中・川下での課題を解決することで、持続可能な森林経営の実現を目指します。足元では、(株)サイプレス・スナダヤと共同で北海道釧路市において大規模製材の事業化を決定しました。当社は、新たに生まれる地域原木需要を起点とし、道内林業関係者とも連携し、道内での川上事業への参画を目指します。また、中部圏においても、地域の森林組合等と連携し、森林の集約化に向けた検討を進めています。



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

国内林業の課題を解決し持続可能な森林経営を実現することは非常にハードルの高い取り組みであり、取り組みの中でさまざまな課題に直面することと予想されます。このため、業界内外のさまざまなプレイヤーとの連携・協働が不可欠と考え、当社は本イニシアティブに、主に以下 3 点を実現するためのプラットフォームとしての役割を期待しています。

- ① 各社が取り組む“具体案件ベース”での他企業との連携機会の創出
- ② 各社の取り組みの中で生じる技術的課題の共有と解決方法の検討
- ③ 国・都道府県・市町村に求める支援策の整理、政策提言

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社トクヤマ

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

- ▶ 周南コンビナート脱炭素推進協議会の一員として、
 - ・バイオケミカル製造技術の調査とコンビナートへのフィッティング検討
 - ・山口県産バイオマスの循環利活用モデルの検討を行っています。
- ▶ 周南コンビナート脱炭素推進協議会HP <<https://sicdcpc.com/>>



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶ ケミカル原料バイオマスのサプライチェーン構築の最適化に向けた連携を期待しております。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：ニチハ株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

◆CO2固定量認証制度実証実験

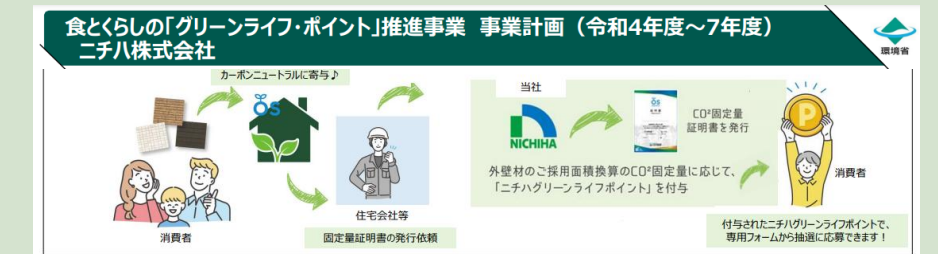
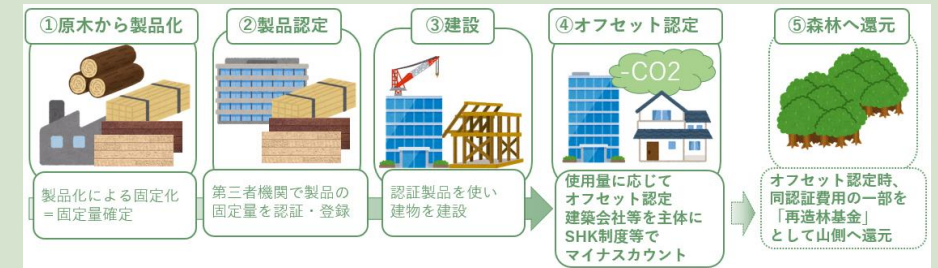
当社では岐阜県、長野県のCO2固定認証制度にオフセット機能を具備させる実証実験を行っています。国産材の需要拡大には川中・川下への対策が必要であり、そのために昨年10月より温対法で定められたSHK制度(S:算定H:報告 K:公表)上でインセンティブを与えることで企業の本気を引き出すべく、取り組みを進めています。

◆ニチハのオフセットサイディング

当社は原料に国産木材チップを使用した外壁材「オフセットサイディング」を製造・販売しています。木材のカスケード利用により森林資源の有効活用と同時に、高い耐久性を持つ外壁はCO2を長期にわたって固定。オフセットサイディングの製造・販売を通じて、地球温暖化防止に貢献しています。

◆食とくらしの「グリーンライフ・ポイント」補助事業

環境省による「食とくらしの『グリーンライフ・ポイント推進事業』」にオフセットサイディングが採択されました。本事業は脱炭素に資する製品にポイントを付与して国民の行動変容を促す事業で、当社製品のカーボンニュートラルへの貢献は高く評価されています。また、CO2固定量の数値化により貢献度合いも実感。環境意識の啓蒙にも貢献する製品です。



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ◆J-クレジットやオフセット等による、国産木材の炭素貯蔵効果を正しく評価したオフセット制度の仕組みづくりや木材の最大需要である「戸建て住宅」に対するSHK制度上での適用など、企業が本気で国産材を使用したくなるインセンティブ制度の働きかけ
- ◆国産材の価値向上に向けた関連制度の改革

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：日揮ホールディングス株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶CO2原料バイオものづくり、木質等原料バイオものづくりの2件のNEDOプロジェクトに採択。
神戸大発のスタートアップ会社であるバックス・バイオイノベーション社と連携し、微生物の育種から生産プロセス開発まで一気通貫でサービスを提供する統合型バイオファウンドリの基盤を構築中。
研究開発から製品上市までの期間・コスト・リスクを低減し、バイオものづくりの社会実装に貢献する。

- ・ [「木質等の未利用資源を活用したバイオものづくりエコシステム構築事業」がNEDOバイオものづくり革命推進事業に採択](#)
- ・ [「CO2からの微生物による直接ポリマー合成技術開発」がNEDOグリーンイノベーション基金事業に採択](#)
- ・ [神戸・ポートアイランドで世界初のガス発酵によるバイオものづくり研究棟の起工式を実施 | 2024年ニュースリリース | 日揮ホールディングス株式会社](#)

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶上流の木材原料確保からバイオマス化学までサプライチェーンを通じた課題解決と市場創生
- ・ 特に、国内森林由来の原料を活用することの環境価値・社会価値を確立し、規制・ルール作り等により市場を創出し、市民の理解を得られるような活動を通じて、市民の行動変容を図る。
 - ・ また、地域の自治体、異業種連携により、小規模モデル実証などリーンスタートアップによるPoCを実施することにより、課題解決に向けた試行錯誤を機敏に繰り返し、早期社会実装を実現する。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：パナソニック ホールディングス株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

弊社及びパナソニックグループでは、下記の取組を実施しています。

- ▶ kinari（高濃度セルロースファイバ成形材料）の製造販売、及び高濃度化・100%生分解化へ向けた研究開発

概要：[kinari - 成形ソリューション - 事業内容 - パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社 - Panasonic](#)

詳細：[kinari home](#) 紹介動画：[パナソニックグループ開発のバイオプラスチック「kinari」紹介動画](#)



- ▶ PALM LOOP（アブラヤシの廃材から再生ボードを作る技術）を通じた材料供給

概要：[PALM LOOP | 技術 | パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社 | Panasonic](#)

製品情報：<https://panasonic.co.jp/phs/technology/palmloop/product/>



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶ パナソニックグループでは、持続可能な未来に向けた長期環境ビジョン「Panasonic GREEN IMPACT」において、2050年に向けて全世界CO2総排出量の「約1%（≒3億トン）」の削減インパクトを目指しています。

[Panasonic GREEN IMPACT - 企業情報 - パナソニック ホールディングス](#)

上記の取組は、いずれも「廃材」を活用できることがポイントです。

- ▶ フィールドを提供いただける自治体様、材料を使用したい企業様、一緒にビジネスを検討したい企業様を探しています。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社バルステクノロジー

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶ 林業、エネルギー、食料関連のリサーチ（海外に流出している年間50兆円に近いマネーを日本（主に地方）に取り戻す！）

（関連著作）Amazon Kindle「令和版傾斜生産方式の提案」

・URL→[Amazon.co.jp: 衰退先進国からの脱却シリーズ7 貿易収支赤字常態化し、円安進展する日本 令和版傾斜生産方式の提案 ～鉄鋼、化学、農業、林業、再エネへの超重点的な投資による日本経済の再生](https://www.amazon.co.jp/dp/B08L5K5K5K) 電子書籍: 宮本義昭: Kindleストア

（関連著作）Amazon Kindle「木質バイオマス起点の産業構造改革」

・URL→[Amazon.co.jp: 衰退先進国からの脱却シリーズ6 木質バイオマス起点の産業構造改革 ～地球温暖化、エネルギー安全保障、林業再生、地方創生、少子化、貿易収支赤字常態化、円安、・・・、解決策の方向性 衰退先進国の脱却（衰退先進国の脱却シリーズ）](https://www.amazon.co.jp/dp/B08L5K5K5K) eBook : 宮本義昭: Kindleストア

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

▶ 日本の国土の2/3を占める森林を最大限活用し、新しい価値を創造。日本の産業、経済へ多大なるインパクトを発揮する。

・森林は天然のDAC（Direct Air Capture）

・森林を吸収した炭素を日本の素材産業にて製品に貯留（「カーボンマイナス」素材産業、金属、化学、木産業）。

→日本の素材産業は生産すればするほど「大気中の二酸化炭素濃度を減少させることができる」。

・「カーボンマイナス」素材を使って製品を製造。

→日本の製造業は生産すればするほど「大気中の二酸化炭素濃度を減少させることができる」。

・「カーボンマイナス」ビジネスモデルを世界に展開。

を実現する為の日本の林業の生産性と安全性の向上（日本林業はニュージーランド林業の生産性の1/6、労働死亡災害は18倍）

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：株式会社みずほフィナンシャルグループ

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

▶グループとしての方針が見えた段階において、連携・協働のご相談をしていきたいと考えております。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：三井住友信託銀行株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶ 森林信託

国内初の商事信託として、2020年に岡山県西栗倉村で個人が所有する森林を信託受託しました。

- ・ [第9回プラチナ大賞／大賞・経済産業大臣賞](#)を受賞しました！

▶ 森林ファンドへの出資

複数の海外森林ファンドへの出資を通じて、お客さまが進めるカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを後押しし、ソリューション提供力の強化に取り組んでいます。

- ・ [「Eastwood Climate Smart Forestry Fund I」への出資](#)（2023年7月10日 三井住友信託銀行プレスリリース）
- ・ [「Manulife Forest Climate Fund」への出資](#)（2024年4月19日 三井住友信託銀行プレスリリース）

▶ 「日本森林アセット株式会社」への出資を通じた再造林の推進

- ・ [伐採跡地の再造林を加速し、国内林業の活性化へ](#)（2025年1月27日 三井住友信託銀行プレスリリース）

▶ 北山杉の利用促進協定

「[建築物等における北山杉の利用促進協定](#)」を締結し、北山林業の持続的な発展、北山杉ブランドのプロモーション活動に取り組んでいます。

- ・ [シンポジウムの開催](#)、[北山杉PR BOOKの製作](#)、エコプロ2024への出展 等

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶ 三井住友トラストグループは「託された未来をひらく」をパーパスとして掲げ、これまでに複数の森林ファンドへの出資や森林信託の開発など、信託ならではのSDGsへの取り組みを行ってきました。プラチナ森林産業イニシアティブを通じて、日本の林業や森林産業の課題解決に、金融機関としてどのような貢献ができるのかを会員団体のみなさまとともに検討し、プラチナ社会の実現に貢献していきたいと考えています。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：有限会社谷地林業

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

- ▶ 木炭の製造・流通事業で創業し、現在は建設業や林業、そして木質チップや木炭生産の事業を行っております。近年は森林の未利用材（林地残材）の利活用に取り組んでおり、昨年からは創業より100年以上続く弊社の木炭製造ノウハウを活用して新たにバイオ炭の製造をスタートしました。岩手県を窓口として「岩手県バイオ炭活用協議会」も発足し、岩手県内の1次産業間や地域社会連携、Jクレジット創出などカーボンニュートラルに向けた取組みも推進しています。

谷地林業 ホームページ：<https://www.yachiringyo.com/>
谷地林業「バイオ炭」：<https://www.yachiringyo.com/biocharcoal>



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- ▶ 以下の取組みで本イニシアティブの皆様と連携していきたいと考えております。
- バイオ炭を通じたカーボンニュートラル、Jクレジット創出への取組み
 - 木炭を作る過程や森林の利活用を通じて対応できる再生可能エネルギー創出の取組み
（例：バイオガスの生成と活用方法について）
 - 持続可能な森林づくり、農林業連携に関する新たな産業・市場スキームの構築

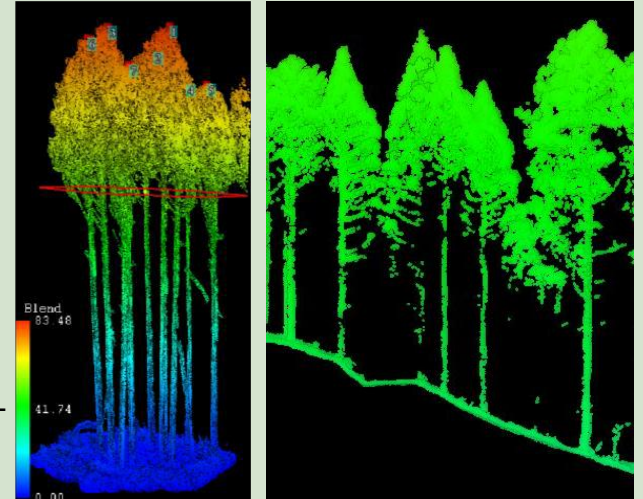


プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：ヤマハ発動機株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

- ヤマハ発動機では、“ART For Human Possibilities” という長期ビジョンの元、様々な新規事業を創り出している中で、日本の、そして、世界の森林の窮状への取組みとして、
『森林デジタル化サービス RINTO』を始めています
<https://www.yamaha-motor.co.jp/ums/forest/>
- 最大の特徴は、上空からのレーザ計測で地表面だけでなく幹の太さも計測することが出来ることです
- この技術は、林業のみならず、森を守り、慈しみ、そして、後世に森をつなげる事に寄与できると確信しています



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

- プラチナ森林産業イニシアティブに集う様々な方々と弊社の技術がかみ合う事で、様々な価値を見出せると考えています
 - ✓ 森林に関して新たな事業や価値創出、技術開発を検討されている方々
 - ➡実際に、林業のみならず、カーボンクレジット創出、測量、治山、遺跡・旧跡
 - ・史跡調査など、多岐にわたり事業連携が始まっています
 - 事例) [カーボンクレジット創出](#)、[史跡調査](#)
 - ✓ 自身で所有・管理している森林を効率的に管理・経営したいと考えている方々
- 当社には、様々なモビリティも！ Green Slow Mobility、電動アシスト付きMTB など、森やその周辺で活用できる、様々なコンテンツもあります
これらも生かした事業連携も歓迎！

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：ライフデザイン・カバヤ株式会社

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

1. 戸建て住宅事業 岡山県、広島県を中心に西日本で事業展開 岡山県、広島県と木材利用促進協定を締結 国産材活用を推進中
◆ 商品ブランド「CLTMASTERS」において、CLTパネルを在来軸組工法の耐力壁として活用したCLTハイブリッド構法をR6/10から導入
https://lifedesign-kabaya.co.jp/lp/kabaya_clt/
2. FC事業 CLT利用建築の普及拡大を目的とし、日本CLT技術研究所を設立 工法の研究開発、独自工法による支援、部材供給を全国展開
◆ CLT工法に在来軸組を融合させた独自工法「LC-core構法」をH30(2018年)から運用開始
◆ 在来軸組工法にCLT耐力壁を活用する「CLTハイブリッド構法」を主に東日本を中心に運用開始
<https://nc-labo.jp/>

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

【木質外装材のブランド化】 地域の製材所で供給可能な木質外装材を、サイディング、金属製外壁と並ぶ外装材としてブランド化する
技術的な研究は尽くされているものの、使用者側、提案する側の知識不足に起因する不具合などが弊害となり普及していない
定期的なメンテナンスを続けることで建築物がある限り使い続けることができるサステナブルな建材、街並みも変わる
まずは岡山県内でブランド化に取り組み、成功事例の他県への水平展開にご協力願いたい

【戸建て住宅の国産材化program】 日本の建築物の大半を占める戸建て住宅の構造部材の国産材化を推進するプログラムを開発する
戸建て住宅建設の実情として、主にコストと流通の面で構造部材は6割以上が外材に流れており、国際情勢に左右される不安定さを抱えている
ヒノキ、スギを適材適所に選んで設計するノウハウとその需要を地域ごとに共有できれば、コスト、流通面の課題解決に結びつく
まずは岡山県内でプログラム開発に取り組み、検証できれば他県への水平展開にご協力願いたい

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：北アルプス森林組合

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する事業紹介・関連サイトのURL

▶当組合では、NEDOの支援事業で、新たな燃料ポテンシャル（早生樹等）の開拓・利用を可能とする「エネルギーの森」実証を行っている。この事業では、広葉樹の高齢樹林でも萌芽更新を最大限高める伐採手法、萌芽更新個体のバイオマスを最大限とする初期保育手法を検証し、短伐期燃料材生産モデル、低コスト高生産性の萌芽更新手法の開発することを目的として、人工林だけではなく、天然林、特に広葉樹も再生可能なエネルギーとしての木質バイオマス燃料の開拓を進めようとしています。

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

▶林野庁統計（令和4年度）では、全国で森林組合数が607組合、組合員数が147万人、全国の組合地区内の私有林面積が1,592万ha、その内組合員所有面積は、1,047万haとなっており、全国における植林、下刈り等、間伐の受託面積のうち、森林組合により行われているものは約5割を占めており、我が国の森林整備の中心的な担い手となっている。また、森林集約化等は、協同組合たる森林組合の中心的、かつ本来的な事業であり、更なる集約化のための森林経営計画の策定が求められています。

森林経営管理制度において、市町村への聞き取りで森林組合に経営管理実施権の設定を希望する割合が77%に上っている。全国の経営計画作成面積が485万haのうち、森林組合が作成した経営面積は240万ha約5割となっています。

現在、山林所有者等について地籍調査等があまり進んでいないことなどから、所有者不明、境界未確定、公図と森林簿との合っていないなどの森林がかなりあり、森林の集約化、森林経営計画の策定、森林経営管理制度の運用がなかなか進まない要因となっています。

木を伐採し提供する側にも森林の集約化などに多くの課題があり、現在林野庁でも様々な課題について、森林経営管理制度の見直しなど新たな施策などにより支援を行っていただいておりますが、現場を担う森林組合等林業事業体や市町村が抱えている様々な課題など生の声を「プラチナ森林産業イニシアティブ」において取り上げていただき、課題を整理し、省庁横断での森林政策への反映ができるよう、政府に提言を行うなど、様々な課題解決によりビジョンの達成が可能となるようにしていただきたいと思います。また、人工林だけでなく日本の森林面積の約6割と言われる天然林資源の最大限の活用も、国の林業政策に十分反映、取り入れていただきますようお願いいたします。

プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：一般社団法人資源循環推進協議会（略称 RRC）

一般社団法人資源循環推進協議会の概要

- 当協議会は、世界規模でグリーン・トランスフォーメーション（GX）の実現に向けた投資競争が加速する今、カーボンニュートラルや資源制約リスクへの対応策としてサーキュラーエコノミーを捉え、**国際競争力を有する資源循環市場の創造**を目指します。
- 環境省や経済産業省と連携し、製造・販売事業者、排出事業者、収集・運搬事業者、再資源化事業者、金融事業者、省庁、自治体、有識者、関連団体など、**2025年1月時点で238者が参画**、資源循環の各主体者との協働を通じてサーキュラーエコノミーの確立に向けて必要な「政策提言」、「社会実証・実装」、「情報の共有・発信」に取り組んでいます。関連リンク：[2024年次報告書](#) | [役員一覧](#) | [加盟企業・団体](#)

プラチナ森林産業イニシアティブに関連する取り組み

- 会員間での議論や社会実証・実装を行うワーキンググループには、「**脱炭素型資源循環を実現するプラスチックのマテリアルリサイクルの推進**」、「**脱炭素・低環境負荷な地域循環モデルの創出**」をテーマに設定した活動が存在しています。プラチナ森林産業イニシアティブに関わるバイオマス資源や再資源化を通じた環境配慮型の化成品の早期実用化を推進する取り組みが行われています。
- 事業の遂行に関して理事会に助言する役割を担う「**評議員**」を新設し、**評議員議長に小宮山 宏 プラチナ構想ネットワーク会長、評議員には資源循環の関係省庁の元事務次官の方々が就任**しています。 | [評議員一覧](#)
- プラチナ構想ネットワークと相互協力了解覚書を締結**しました。双方の知識やネットワークを活用し、お互いの事業拡大や効率化を目指します。 | [お知らせ](#)

プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと

地域資源を活かした循環モデル・ビジネスの共創：プラチナ森林産業イニシアティブが掲げる「森林資源のフル活用による脱炭素社会の実現」や「地域再生」の方針は、当協議会の「地域循環共生圏の形成」や「脱炭素・低環境負荷な地域循環モデル創出」の活動と親和性が高いと考えています。また、当協議会の会員にはバイオマスプラスチックと炭酸カルシウムを配合したプラスチック代替素材の普及に取り組む事業者が存在しています。**バイオマス化学分野でのノウハウをお持ちの方々と当協議会が協働することで、新たな循環モデルやビジネス創出**の可能性を探りたいと考えています。

会員企業・団体との連携拡大：当協議会には、約240の多様な会員が参加しており、プラスチックリサイクルや炭素循環技術、地域モデル創出等、循環経済に関連する様々な取り組みが進行中です。今後、当協議会には森林資源の利活用や木質バイオマス、脱炭素型地域モデルに関心を持つ会員も増えてくると想定しています。プラチナ森林産業イニシアティブとも連携しながら、**当協議会の会員が保有する技術やノウハウを相互に活かす協働の場**を検討していきたいと考えています。森林資源を活用したプラスチック代替素材の開発やカーボンリサイクル製品の開発等、両者の強みを掛け合わせることによるシナジーを生み出したいと期待しています。

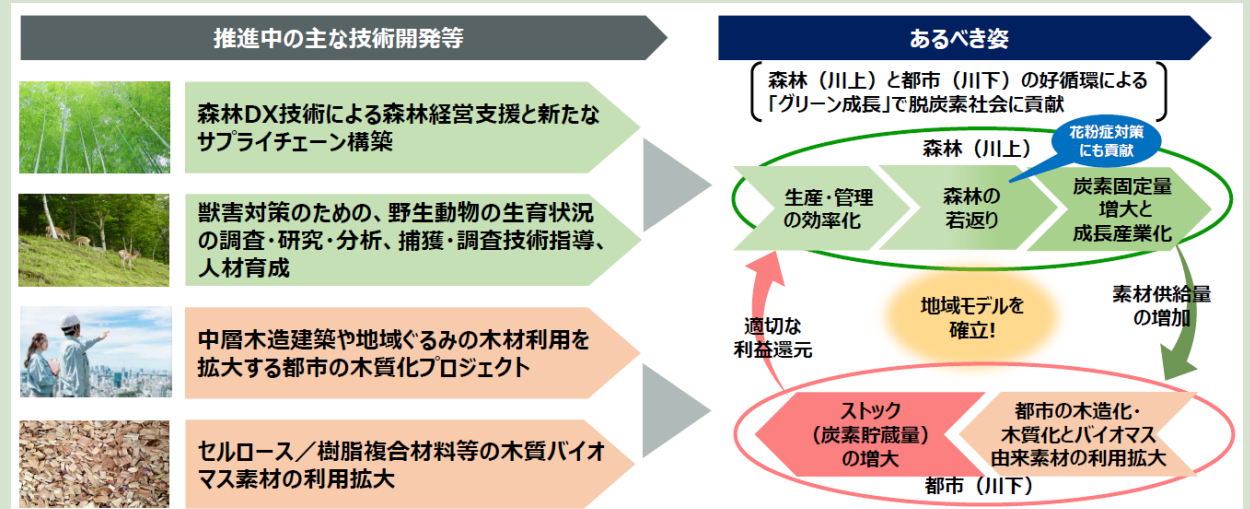
プラチナ森林産業イニシアティブ参加団体の取組紹介

団体名：東海バイオコミュニティ ～森林・林業分科会～ （名古屋大学 福島和彦）

森林・林業分野の取組

■森林（川上）と都市（川下）の好循環による林業及び関連産業の成長産業化と、森林の若返りによる炭素固定量増大を実現する地域モデルを確立し、「森林・林業基本計画」に示された「グリーン成長」を通じた脱炭素社会の実現に貢献

①都市の木造化・木質化やバイオマス素材の利用拡大による森林に還元される利益の増加、②デジタル技術等の活用や効果的な獣害対策による森林における生産・管理の効率化に向けた技術開発と社会実装を推進、③製材端材から改質リグニン、セルロース系材料、バイオ燃料などへの変換
<https://www.tokai-biocommunity.org/>



プラチナ森林産業イニシアティブを通じて連携・協働したいこと → 次世代木質コンビナート形成（美濃加茂市）



- ◎美濃加茂市でランバーランドが最大16万 m^3 （通常12～15万 m^3 ）の製材工場を稼働させた（2024年11月）
- ◎最新鋭製材工場生産される品目の割合
原木から体積比で、製材品45% / おが粉8% / チップ27% 程度
- ◎ おが粉やチップを医薬品、香料、化成品、バイオ燃料等に変換し、新産業を創出する
- ◎参画団体（2025年1月現在）：東海国立大学機構、ウッドフレンズ、リグニンラボ、フルハシEPO、豊田合成等
- ▶バイオマス化学産業を最新鋭製材所オンサイトで実現させませんか？
- ☞連携・協働事業者を募集中 kazu@agr.nagoya-u.ac.jp（福島）